

様式 C-26 【記載例】

繰越（翌債）を必要とする理由書

機関番号： 11111 研究機関名：××××大学 研究代表者名：文科 花子
課題番号： 22101417 繰越（翌債）承認要求額： 130,000 円（内訳：直接経費 100,000 円・間接経費 30,000 円）
研究種目： 基盤研究(B) 研究課題名： ○○に関する研究 研究期間 22 年度 ～ 23 年度

当初計画及び変更後の計画		当初の研究計画	
<当初計画> H23.4 事前準備 H23.5 ↓ H23.6 ↓ H23.7 ○○調査の実施 H23.8 ↓ H23.9 ↓ H23.10 調査結果の分析 H23.11 ↓ H23.12 ↓ H24.1 ↓ H24.2 ↓ H24.3 学会発表及び研究成果取りまとめ	<変更後の計画> H23.4 事前準備 H23.5 ↓ H23.6 ↓ H23.7 ○○調査の実施 H23.8 ↓ H23.9 ↓ H23.10 △△調査の実施 H23.11 ↓ H23.12 ↓ H24.1 調査結果の分析 H24.2 ↓ H24.3 ↓ H24.4 ↓ H24.5 ↓ H24.6 学会発表及び研究成果取りまとめ H24.7 H24.8 H24.9 H24.10 H24.11 H24.12 H25.1 H25.2 H25.3	(研究概要) ※<当初計画>に即して、最終的に平成24年3月までに達成予定であった計画を時系列で記述すること。 平成24年2月までに、 ○○調査を実施し、調査結果の分析を行い、 平成24年3月までに、 学会発表及び研究成果取りまとめを行う	
<変更後の計画>では、繰越事由の発生した時期、当初からの変更点を明確にしてください。		【変更後の計画の類型】については、「繰越申請に当たっての留意事項」を参考に、繰越事由及び変更後の計画と対応するものを選択してください。	「(その他)」以外を選択している場合は、記入する必要はありません。
繰越事由の発生した時期 平成23年9月		事由 記号等 ①エ 計画に関する諸条件（計画の変更） (その他の場合の事由：)	
補助事業の完了時期 平成24年6月末（3ヶ月延長）		【変更後の計画の類型】 追加調査・実験等	(補足説明) *必要な場合 必要に応じて、簡潔に補足説明を記載してください。